

令和6年度「海洋プラスチック対策（プラスチック使用量削減等）・リーディングプロジェクト支援補助金」の採択結果について

1 要旨・目的

生活由来の海洋プラスチックごみ対策として、企業等による先進的なプラスチック使用量削減や資源循環に資する取組を促進するため、令和4年度から、リーディングプロジェクト支援補助事業を実施している。今般、令和6年度分の事業を公募し、外部有識者を含めた審査会による審査により、予算の範囲内で6件を採択したため、その内容を報告する。

2 概要

(1) 対象事業

「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム (GSHIP)」の参画企業と連携し、2020年代前半のうちに県内又は本県を含む地域で社会実装することを目指すもので、ワンウェイプラスチックの削減、プラスチック代替素材の利用促進、プラスチック資源の3R（リデュース・リユース・リサイクル）及びリニューアブルの拡大・高度化等を推進する事業
【補助率1/2、上限8,000千円/件】

(2) 事業内容（採択事業の概要）

	採択者名 (五十音順)	事業概略	交付決定額 (千円)
1	アサヒユウ アス(株)	新規 【 <u>ひろしま plaloop～ホテルの使い捨てアメニティの循環プラットフォームの構築～</u> 】 プラスチックを資源として循環させ続ける仕組み(plaloop)の構築を目指して、リサイクル材100%使用のアメニティ開発と宿泊施設等と連携した資源回収・再生処理のスキームを実証	7,993
2	(株)カネカ	新規 【 <u>ワンウェイプラスチックの海洋生分解性素材への代替と処理モデルの構築</u> 】 広島県内の百貨店等から排出される廃食用油を原料の一部に使用して100%バイオマス由来の海洋生分解性樹脂を生産し、小中学校及び百貨店テナントのストローを素材転換し、使用後に域内でコンポスト処理する循環モデルを実証	975
3	(株)ヤマサキ	新規 【 <u>日用品の容器素材の紙代替によるワンウェイプラスチックの削減</u> 】 ボディークリームやシャンプー等のプラスチックボトルを紙製容器に置き換えることによるプラスチック使用量の削減と、オリジナルパッケージを用いたプラスチックごみ減量に係る啓発効果の検証	2,515
4	(株)ダイセル	継続 【 <u>海洋生分解性プラスチックによる代替素材製品の普及促進・リサイクル</u> 】 海洋生分解性素材の普及を目指して、これまで宿泊アメニティ(歯ブラシ)の製作及び使用済み製品の効率的な回収並びにカキ養殖パイプへのリサイクルスキームの確立を行ったことから、今年度は利用拡大に向けたアメニティの種類拡充及びリサイクルパイプの養殖場における実環境での耐久性を検証するとともにカキ養殖期間(3年)の耐久性を継続実証	2,855

5	三菱ケミカル(株)	<p>継続【飲料ラベルの水平リサイクル実現に向けた資源循環モデルの構築】</p> <p>産学官民連携により、これまで脱墨できる新素材を用いた飲料ペットボトルラベルの製品化及び水平リサイクルの技術検証並びに小売店頭における効率的な分別回収に取り組んだ結果を踏まえ、今年度は既存ラベルを脱墨できる技術の実用化に向けた検証及び選別精度の向上や工場・事業所など新たな回収ルートでのスケールアップ処理の実証、並びにペットボトル3分別の定着に向けた啓発活動の実施</p>	4,515
6	ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング(株)	<p>継続【プラスチック空容器回収プログラム等による資源循環モデルの構築】</p> <p>これまでポイント還元型の回収プログラム「UMILE」により、メーカーを限定しないプラスチック空容器の回収及びリサイクル(アップサイクル品、パウチへの水平リサイクル品の開発)に取り組んだ経験を踏まえ、今年度は新たに花業界の廃プラスチックの高付加価値化を加え、産学連携によるプラスチックの循環モデルを実証</p>	8,000
合計			26,853

3 今後の対応

- 採択事業については、プラットフォームにおいて、企業間や市町との連携や県民への広報など、円滑に事業が推進するよう、継続的な支援を行う。
- 採択事業の実施により得られた成果をプラットフォーム全体で共有し、サプライチェーン全体へ広く波及させるとともに、効果的な情報発信を行って県民への意識醸成につなげていくことで、海洋プラスチックごみ削減に向けた取組を一層加速化させる。
- また、これまでの取組に関して、その効果や課題を検証し、実証から社会実装につながる案件を絞り込んだ上で、販路拡大のためのマッチングや広報の強化など、積極的なフォローアップを行うとともに、国や産業界とも連携しながら、社会実装のためのビジネスモデルの構築につなげていく。

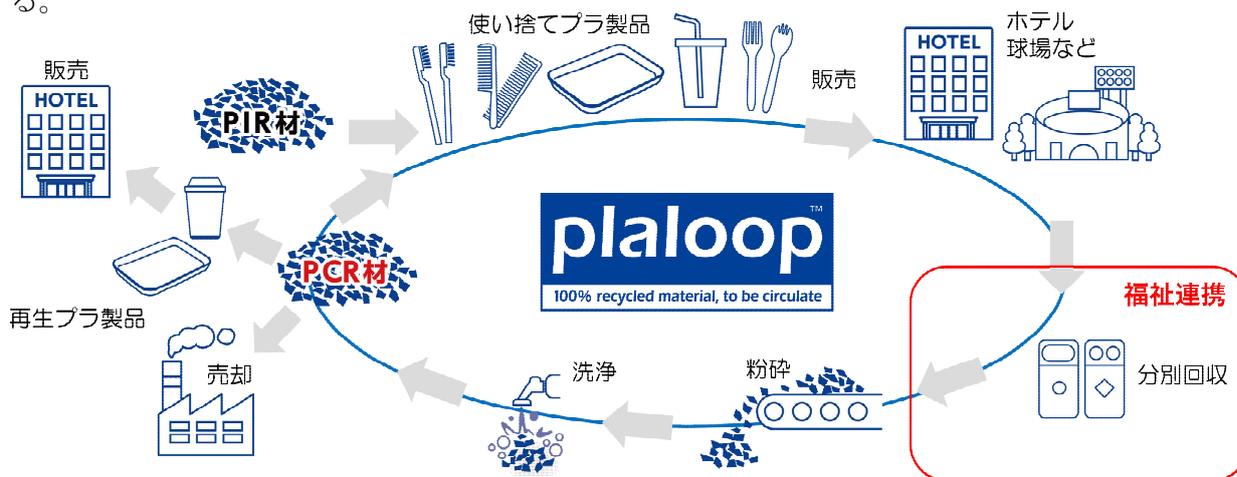
【主なスケジュール（令和6年度の採択事業）】

- ・令和6年8月～10月 プラットフォームで支援しながら随時事業開始、県民等へ広報
- ・令和7年3月～4月 事業成果をプラットフォーム会員企業等で共有、情報発信

採択事業のイメージ図

① アサヒユウアス(株) 【ひろしま plaloop～ホテルの使い捨てアメニティの循環プラットフォームの構築～】

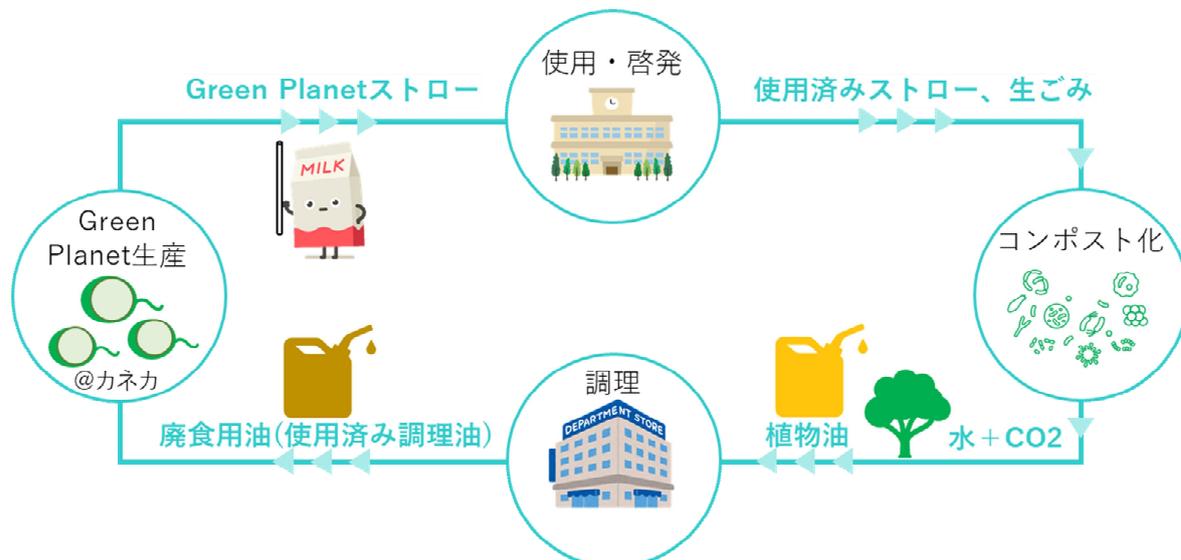
- ・ホテルアメニティ（歯ブラシ等）を単一素材の100%リサイクルプラスチックで製造し、使用後のアメニティを回収・再生処理することで、PCR（Post-Consumer Recycled）材*として再活用する。*PCR材：消費者に使用されたのち再生されたリサイクルプラスチック
- ・アメニティ含む様々な製品に循環利用することで、プラスチック素材が循環する社会を目指す。回収・分別作業において福祉連携を行うことで、障がい者の社会参画と多様な働き方を創出する。



出典：アサヒユウアス(株) 資料

② (株)カネカ 【ワンウェイプラスチックの海洋生分解性素材への代替と処理モデルの構築】

- ・小中学校や百貨店等で使用されるワンウェイプラスチック（ストロー等）を、広島県内の使用済み食用油を原料の一部に使用した海洋生分解性素材（カネカ生分解性バイオポリマー Green Planet®）へ転換する。
- ・使用後の処理としては焼却や生分解処理、リサイクルなど多様に対応可能だが、本事業では環境学習との親和性が高い、小学校内で生ごみをストローとともにコンポスト化する、オンサイト型の生分解処理モデルを検証し、児童・市民への啓発活動を併せて行う。



出典：(株)カネカ 資料

③ ㈱ヤマサキ 【日用品の容器素材の紙代替化によるワンウェイプラスチックの削減】

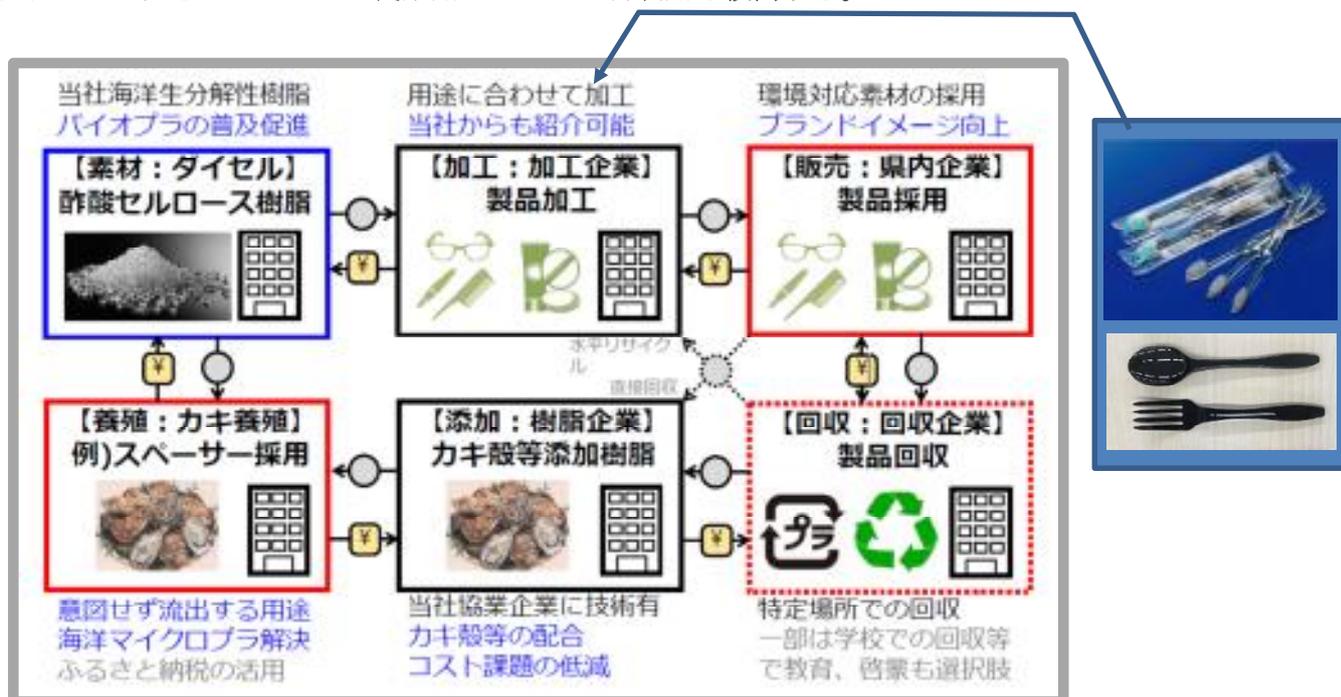
- ・ボディーソープやシャンプー等のプラスチックボトル製品を、紙製容器「キューブパック」に置き換え、プラスチック使用量の削減とごみ減容を目指す。
- ・紙製容器の全面印刷可能な特性を活かし、海洋プラスチックの問題やGSHIPの目指す姿を印字することで、課題解決の啓発活動にいかす。



出典：㈱ヤマサキ、TOPPAN(株) 資料

④ ㈱ダイセル 【海洋生分解性プラスチックによる代替素材製品の普及促進・リサイクル】

「瀬戸内海における海洋プラスチックごみ削減」を共通目的とし、カキ養殖事業者含む企業コンソーシアムを結成、バイオマスかつ海洋生分解性を持つ酢酸セルロース樹脂（CAFBL0®）を使用したカキ養殖用パイプの実証検証を進める。さらに新プラ法指定12品目への採用を推進、CAFBL0®のリサイクル性を生かしたカキ養殖用パイプへの再利用を検討する。



出典：㈱ダイセル 資料

⑤ 三菱ケミカル㈱ 【飲料ラベルの水平リサイクル実現に向けた資源循環モデルの構築】

「ペットボトルラベルの水平リサイクルが実装された社会」の実現に向け、今年度は回収量を増やす施策として、工場・事業所など新たな回収ルートを検証、選別工程の多段化や複数方式の組み合わせによる精度アップに加えて、脱墨*技術向上についても効果を検証する。また、ペットボトルの3分別の定着のため市民への啓発活動も継続して実施する。

*脱墨：印刷されたフィルムからインキを取り除くこと

実証事業イメージ

<回収>

- ①事業所等でシュリンクラベルを回収
- ↓
- ②光学選別（PETの純度を高める）
- ↓
- ③脱墨、フラフ化
- ↓
- ④色彩選別（脱墨不足フラフの除去）
- ↓
- ⑤フィルム化製膜可否の検証
- ↓
- ⑥ラベル加工可否の検証

<啓発活動> 小学校、事業所等



①回収（協力事業所・事務所等）



②選別（光学+風選別）



③脱墨・フラフ化



④色彩選別



⑥ラベル加工



⑤フィルム化



出典：三菱ケミカル㈱ 資料

⑥ ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング㈱ 【プラスチック空容器回収プログラム等による資源循環モデルの構築】

昨年度、メーカー不問としたシャンプー等空容器の回収スキームを、スーパー等の小売流通業界と連携して拡大するとともに、新たに花き業界と協同し、花店等から廃棄される廃プラスチック等も併せて回収・リサイクルすることで、本県における、業界の垣根を超えた先進的な地域資源循環モデルを構築する。また、アップサイクル品の市場投入を進めるとともに、水平リサイクル品（軟包装パウチ）の実装化に向けた取組を進める。



出典：ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング㈱ 資料